

担い手の経営のライフステージに応じた支援

3. 被災者等への支援

(1) 伊達地区ブランド「あんぽ柿」復興への取組みについて

JAふくしま未来（福島県）

新規	継続
○	
	(平成 年 月)

1 動機 (経緯)	<p>JAふくしま未来伊達地区は、全国ブランドの「あんぽ柿」発祥の地として約 90 年の歴史がありますが、東日本大震災および原発事故の影響から、震災後 2 年間にわたり全面的な生産・加工の自粛を余儀なくされました。当 JA では、あんぽ柿の生産再開に向け、震災直後から樹皮洗浄や粗皮削り等の放射性物質低減対策に取り組みました。平成 25 年度からモデル地区の設定や生産者への資材（基肥肥料）購入費用の助成を行い、加工再開・生産量回復に取り組んでいます。</p> <p>ブランドの完全回復のためにさらなる付加価値向上や県外への PR 等が必要となっています。</p>
2 概要	<p>当 JA では、あんぽ柿のブランド強化に向け、平成 28 年 6 月に加工選別包装施設「あんぽ工房みらい」を新設するとともに、パッケージや六次化商品の開発に取り組んでいます。</p> <p>新施設については、高度な安全・衛生管理や品質管理を行うために、HACCP 認証を取得し、最新鋭の自然循環型乾燥設備・クリーンルーム・選別システムを完備しています。</p> <p>あんぽ柿専用運搬容器の製作費用、HACCP 認証取得費用、パッケージの開発費用等の一部は農林中央金庫よりされています。</p>
3 成果 (効果)	<p>本取組みは、あんぽ柿の付加価値向上を通じたブランド回復、生産・販売拡大に効果的であり、生産者の所得増大につながることを期待されています。</p>
4 今後の予定 (課題)	<p>「あんぽ柿」ブランドの県外への PR を継続し、生産拡大につなげていく予定です。</p>



あんぽ柿工房みらいの様子